

地域医療再生計画(案) 阪神南圏域の小児・周産期、救急医療等の総合的な診療機能体制の充実、及び、医療人材育成システムの構築

圏域 阪神南圏域

現状

2次救急輪番参加病院が減少、大型病院の救急部門が縮小した。小児2次救急輪番は、体制維持が厳しい状況が続いている。出生数、低出生体重児が増加の中、産婦人科の休止等が生じている。圏域内の内科、神経内科、産婦人科医が減少している。

課題

救急医療の脆弱化に対応した総合的な救急医療体制の充実が必要
小児救急、周産期医療の安定的提供体制の構築が必要
救急に係る医師等の確保が必要

方策

阪神南圏域の小児・周産期、救急医療等の総合的な診療機能体制の充実、及び、医療人材育成システムの構築

1 総合的な救急医療体制の確立

県立尼崎病院と塚口病院の統合再編(75億円程度)

総合的な診療機能を生かし、小児医療、周産期医療、救急医療等を充実し、総合的な救急医療体制の確立を図る
(総合周産期母子医療センターの設置、小児中核病院の指定、救急救命センターの設置、ER型総合診療体制の整備)

マグネットホスピタルとしての展開

兵庫医科大学病院の救命救急センター機能の充実 等(5億円程度)
(全科対応可能な救命救急センターの充実、救急搬送体制の充実(ドクターカーの導入、ヘリポートの設置等)、救急現場との情報ネットワーク化(心電図、処置内容のデータ伝送))

圏域救急事案の死因究明のための画像診断設備の整備(3億円程度)

2 医療機関間の連携の強化(ネットワーク化)(6億円程度)

休日夜間急病診療所等のIT化によるネットワーク構築

(休日夜間急病診療所間、2次救急輪番病院等との連携)

阪神南北における初期救急医療機関と2次輪番病院等の連携支援

阪神南圏域の地域医療支援病院の連携推進、地域連携クリティカルパスの推進等の支援

3 兵庫県医療人材コンソーシアムの構築(10億円程度)

県立尼崎・塚口統合病院をマグネットホスピタルと位置付けて、医療人材育成・派遣のしくみを構築

兵庫県医療人材コンソーシアムセンターの協議及び整備

医師の地域偏在解消のための修学資金貸与制度

4 救急医療体制整備に向けた協議体制の確立と地域の意識醸成(1億円程度)

阪神地域救急医療連携協議会等の設置

・圏域をこえた救急のあり方、役割分担、連携方法に関する協議
・阪神南北の小児・成人の初期救急等のあり方に関する協議
地域住民等への地域の医療機関の役割分担等を周知し、適切な受診行動を促進

・パンフレット等の配布、広報誌への記載、フォーラムの開催等

